

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、25～29 台を示し、著しく高めでした。

〔漁況概要〕

中小型まき網---月夜間と台風の影響で出漁日数が少なかった。西彼地区ではマイワシなどが1日1統当たり40トンの水揚げで、前週の2.7倍（前年を上回った）。北松南部地区では、マサバなどが1日1統当たり10トンの水揚げで、前週の63%（前年を下回った）。

イカ釣----スルメイカは壱岐勝本地区では、1日当たり83kgの水揚げで、前週の47%（前年を上回った）。ケンサキイカは壱岐勝本地区では、1日当たり38kgの水揚げで、前週を下回った（前年を下回った）。

定置網----五島魚目地区では、シイラなどが1日1統当たり1.4トンの水揚げ。対馬東岸地区では、マアジなどが1日1統当たり355kgの水揚げ。

一本釣----北松宇久地区では、ヒラマサが1日当たり20kgの水揚げで、前週の1.7倍（前年を下回った）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（9/19～9/24の6日間）の沖合イカ釣（船凍船）は、大和堆付近で操業。赤イカは切上げ函館へ向け出港。

沿岸イカ釣（氷蔵船）は、対馬及び山口沖～山陰沖～能登半島沖で操業。鳥取県西部（沖合船）入港船なし。

（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

漁海況通信「第6-18号 五島灘・壱岐水道・対馬東水道（対馬南東）の観測結果」を発表しました。

漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>